

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152
メール info@takaoka-hongwanji.jp

◇新制御本典作法研修会を開催

八月一日、西本願寺高岡会館礼拝堂で、御本典作法研修会が開催された。これは二〇二二(令和五年)にお迎えする親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要に依用する新たな法要作法として、『新制御本典作法』が伝統的な声明と大衆唱和の両面を兼ね備えたものとして制定(本願寺ホームページより)され、それを受けて本願寺式務部法式儀礼専門職の浅井宣祥主管より解説とお勤めの指導があった。

この作法は五十年前に様々な法要に使われていたが、本願寺の儀礼が昭和二十年代後半からの大衆唱和によって門信徒とともに唱和をすることが中心になったり、音楽法要の台頭とともに徐々に使われなくなったが、再評価され復活した。制定にあたり①教行信証の御文から使う②大衆唱和の要素を入れる③作法に感動を与えられる④伝統的なお勤めを取り入れる、という条件であったとされた。

その後内容に入り、はじめに五十年前と同じ宿縁(念仏伽陀)の指導に入った。宿縁(念仏伽陀)は行事鐘前に、正式な法要の中ではないが百年前の声明をもとに作られた。また声明の歴史に触れ、大原声明(天台声明)



から取り入れた本願寺の声明についての説明や、今回の作法は、多数の本願寺僧侶に合わせたお勤めであると言われた。

次に法要の声明に入り、『宿縁讃』や『正信念佛偈(第一種)』等、声明練習を含めて制定にあたっての経緯を交えながら、現在決まっている本願寺での慶讃法要の中身について述べられた。

質疑応答では、声明に対する歴代ご門主様の厳しい姿勢の話や自坊での法要をする時について意見が出され終了した。

◇寺院女性会連盟第一回研修会

七月二十日(水)午後二時より、西本願寺高岡会館礼拝堂にて寺院女性会連盟第一回研修会が開催されました。氷見東組明嚴寺住職・本願寺派布教使の寺西良夫師をご講師にお迎えし、参加者四十名が『ご門徒さんと共に寺院女性性これから』をテーマとした一時間半弱のご講演を拝聴しました。

ご講師は宗教活動と経済活動が一体化している新興宗教の現状や問題を解説された後、ご用意して下さった資料の他、金子みすゞの『蓮と鶏』、また『歎異抄』第五条などを引用されながら、大乘仏教に説かれている根源的な命のありようを述べられ、経済活動にとどまらない浄土真宗のみ教えの尊さを懇切に説いて下さいました。

時代の変化や新型コロナウイルスの影響で寺院活動が縮小し、どのようにご門徒さんと接すれば良いか迷うことの多い昨今ですが、浄土真宗のみ教えを大切に、自身を持って活動していくよう励まして頂いた研修会でした。

(寺院女性会連盟委員長、六浦千春)

◇各種団体役員改選

任期満了を迎えた各種団体で、役員改選が行われました。
新たな役員は次の通り。(敬称略)

○門徒総代会

代表	宮川 秀雄 (砺波組安詳寺)
監事	黒田 純一郎 (氷見組西光寺)
監事	車 啓三 (関野組光慶寺)
副会長	蔭島 章 (若神組善興寺)
副会長	針山 康雄 (伏木組入報寺)
会長	奥村 寿朗 (砺波組照伝寺)

○門徒推進員連絡協議会

教学研究室公開講座のご案内

当教学研究室は、1992年に西本願寺高岡会館が建設されたのを機に、高岡教区教学財団により、現代社会に
応える教学の振興と人材の育成を目標として設置されました。

今年度は下記の内容にて開催いたしますので皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

日時	8月23日(火) 14:00～
会場	西本願寺高岡会館礼拝堂
講題	「大乘仏教研究の現在」
講師	下田 正弘先生 (東京大学大学院人文社会系研究科教授 日本印度学仏教学会理事長)
その他	参加費無料

詳細は同封のチラシをご覧ください

得度習礼講習会・考査中止のお知らせ

本年度高岡教区における得度講習会・考査を福光教堂にて開催を予定致しておりましたが、受講の申し込みがありませんでしたので、中止とさせていただきます。

尚、来年度も福光教堂にて得度講習会・考査の開催を予定しておりますので、受講を希望される方は申し込みくださいませうようお願い申し上げます。

以上

「御同朋の社会をめざす運動」推進僧侶研修開催

2022年度「御同朋の社会をめざす運動」推進僧侶研修会が下記の通り開催されることとなりましたのでご案内いたします。なお、案内は後日各個人あてに送付させていただきます。

- ・テーマ 「**経典における**」差別語・差別表現とどう向き合うのか
- ・期日 第1回 9月 5日(月) 午後1時半～4時40分
第2回 9月16日(金) 午後5時半～8時50分
第3回 9月17日(土) 午後1時半～4時40分

※感染症対策のため日程を一部変更する場合がございます。マスク着用・手指の消毒にご協力をお願いいたします。

- ・会場 西本願寺高岡会館
- ・対象 教区内全僧侶(個人あてに案内、出欠を確認)
- ・講師 小笠原 正仁さん(同和教育振興会出講講師)

◆御同朋の社会をめざす運動のコーナー

今、当事者の声を聞く

今年も八月十五日の終戦の日を迎えようとしています。

これから終戦の日に向けて戦争をテーマとした多くの特別番組が放送されることと思われませんが、特に戦争を体験された方の証言は、どんな資料よりも雄弁に戦争の悲惨さや実態を伝えてくれるように思います。

私自身、これまでに何度か戦争を体験されたご門徒さんのお話を聞く機会がありました。その一部をご紹介します。「空襲で起こった火災の勢いと熱がすさまじく、熱さに耐え切れずにみんな我先に川へと飛び込んでいくが、あまりに人数が多いので、先に飛び込んだ人が後から飛び込んだ人に潰されてしまうような有様だったが、それでも飛び込まざるを得ない状況だった。翌朝になってみると川の水面が遺体で埋め尽くされていて、それがどこまでも続いていた。そんな地獄をこの目で見てきた」

「空襲が終わった翌日、近所の人同士で集まって互いの無事を確かめていると、その内誰ともなく『球場まで行って皆で万歳三唱をしよう』という話になって、黒焦げの遺体が無数に道端に並んでいる中を皆で歩いて万歳三唱しに行った」

「勤労奉仕に女学生も動員されることになって、工場までの道のりを歩いているところを米軍機に見つかるのと機銃掃射をしてくるので、飛行機の音が聞こえたらすぐに建物の屋根の下に隠れないといけないかった。同級生は逃げ遅れて米軍機に撃たれて亡くなってしまった」

これ以外にも従軍されていた方などからも色々なお話を聞いてきました。それぞれ様々な考えがあり、国や軍に対する意見も異なっておりましたが、ただ一つ「戦争は絶対に嫌だ」「戦争は二度としてはいけ

ない」という考えは共通していたように記憶しています。

水見市の島尾海岸にある島尾公園内では毎年八月に富山大空襲で亡くなり、島尾海岸に漂着した人々のための慰霊と追悼のつどいが勤められております。

一九四五年八月二日の富山大空襲では市街地のほぼ全域が焼き尽くされ三千名近い死者が出ました。その際に多くの遺体が神通川河口から各地に流れ着きましたが、島尾海岸には十一体の遺体が発見されました。その中には赤ん坊を抱いた女性や、はぐれないように互いの手をひもで結んだ幼いきよだいの姿もあり、地元の人々はその姿に涙し、浜の松の根元に穴を掘ってそこに埋葬したそうです。のちに地元の人や有志の手によって公園内に地蔵尊が建立され、戦争の惨禍を風化させることなく次世代に語り継ぎ、二度とこのような悲劇を繰り返させないという思いのもとに、慰霊と追悼のつどいが続けられていると聞いています。

戦争を体験した世代が高齢となり、次々と亡くなっていく中で、今はほとんどが戦争を知らない世代となりました。もう間もなく戦争を体験された方からお話を聞くことはできなくなるでしょう。しかし、その人たちが私たち戦争を知らない世代に何を語り継ごうとしてきたのか。何を伝えようとしてきたのか。折しも世界情勢が緊迫し、日本も戦後一貫して堅持してきた平和主義から方針を転換することが現実味を帯びてきている今だからこそ、私たちは戦争を体験された方の声に今一度耳を傾け思いを致す必要があるように思います。

世界では今も各地で同じ悲劇が繰り返されています。先人たちが残してくれた多くの教訓を忘れることなく、非戦平和ということをどのよう to 実現していくのか、私たちはそんな大きな宿題を担っているように思います。

◇これからの日程（8/17～9/21）◇

8月	教区・財団行事	教化団体・組行事
17	北同推会議	
18	教務所事務開始	
19	職員会	
22	得度講習会（～23） 福光教堂※中止	
23	教学開発室公開講座	特別法務員連絡協議会
24	得度考査※中止	
25	僧研スタッフ研修会	いろは塾
26	井波別院仏婦研修旅行	富山仏教学会例会
27	本山杯野球大会	
28		
30		仏婦執行部会
31	教区重プロリーダー研 修会	寺女役員会 仏婦・寺女合同実践運動 研修会※延期
9月		
5	僧侶研修会（1回目）	
6		北陸藤の会例会（石川）
7	聖典セミナー	
8		連区布教団研修会（石川）
9		
11		寺青バザー（礼拝堂）
13		布教団役員会
14	常例法座	
16	僧侶研修会（2回目）	
17	僧侶研修会（3回目）	
21		仏婦広報委員会

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前5:35～5:45
□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎8/27（土）：小林 顯英氏

（本願寺派布教使・大阪教区榎並組法栄寺前住職）

「南無阿弥陀仏の用（はたら）きにまかせる」

□8/28（日）：小見山 恵佑氏

（高岡教区若神組常称寺）

◎9/4（土）：釋 徹宗氏

（相愛大学学長・大阪教区豊島北組如来寺住職）

「念仏者は無碍の一道なり」

◎9/11（土）：釋 徹宗氏

（相愛大学学長・大阪教区豊島北組如来寺住職）

「他力の仏道」

□9/12（日）：西郷 教信氏

（滋賀教区彦根組龍泉寺住職）

◎9/18（土）：釋 徹宗氏

（相愛大学学長・大阪教区豊島北組如来寺住職）

「坊守への道」

◎9/25（土）：釋 徹宗氏

（相愛大学学長・大阪教区豊島北組如来寺住職）

「本物の言葉」

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかが
でしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下
さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)

Fax. (0766) 21-5152

【西本願寺高岡会館9月の常例法座】

ご講師： 藤島 秀 恵 師

（富山教区婦負西組勝福寺）

ご講題：『 未 定 』

午後1時20分頃からビデオ上映、2
時からお正信偈六首引のお勤めです。ど
うぞお誘いあわせてお参りください。